



今月の学習会は「手洗い」についてです

このテーマは定期的に行っているもので、最近では学習会というよりは啓蒙活動に近くなっています。

特殊なクリームを手全体に塗ってから手洗いを実施。その後ブラックライトが発せられる写真の装置からのぞくと手の洗えてないクリームが光る事で、洗い残しを視覚的に確認するというものです。

普段人間は皮膚がバリアになっていますが、透析では針を刺す、血液を体外へ循環させる、多くの患者がいて免疫力の低下している方もいる…など感染のリスクが多く、感染症は透析患者の主な死亡原因の1つとなっています。

健常人でも手洗いは予防の基本中基本で大切なものですが、忙しい業務中では「1手技に1手洗い」がなかなか徹底できない場面があるのも事実だったりします。

しかし感染経路が目にはなかなか見えず、気が付かないうちに自分の手が感染経路になっている可能性もあり、何度でも再確認をしてスタッフ全員の意識を高めなければなりません。